

2024 年度 前期授業アンケート集計報告書

1. アンケートの趣旨・目的

講義を受講した学生から率直な意見を集め、大学教育や学びの実態を把握し、授業の継続的な向上活動およびより良い教育環境の構築を目的として実施している。

2. 概要

	大学	短大部	大学院
対象科目 (延べ科目数)	305 科目	88 科目	26 科目
	※ただし、学外実習・海外研修・インターンシップ科目・一部のゼミ科目・集中講義・閉講科目、学科希望の指定科目については、実施対象外とした。		
回答者/対象者 (延べ人数)	11,434 名 / 17,119 名	2,946 名 / 3,596 名	41 名 / 58 名
回答率	66.8%	81.9%	70.7%
実施期間	2024 年 7 月 16 日(火)～8 月 5 日(月)		
実施方法	UNIPA による WEB アンケート方式		

3. 設問項目

- あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標をどのくらい達成できましたか
達成できた・まあまあ達成できた・あまり達成できなかった・全く達成できなかった
- あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか
意欲的に取り組めた・まあまあ取り組めた・あまり取り組めなかった・全く取り組めなかった
- 学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか
とても感じた・まあまあ感じた・あまり感じなかった・全く感じなかった
- この授業の内容や方法で特に良かった点、この授業を受けて有益であった点があれば記入してください (自由記述)
- この授業をよりよくするための提案があれば記入してください (自由記述)

※一部学科では設問が異なります

4. 結果の要約

大学全体、学科別、講義形態別にて集計を行ったが、平均値よりスコアが大きく離れる科目は少なく、平均値 3.5 前後という比較的肯定的な結果が得られた。

また、講義形態別の集計では、「講義」という形態よりも、「演習」・「実技」・「実習」・「実験」といった形態の講義の方が、平均値が高くなる傾向があった。理論の学修だけでなく、参加型の講義で実践的な経験を積むことが本人の学修意欲や学修到達目標の達成に良い影響を与えていると考えられる。

■2024年度前期授業アンケート

【短期大学部】

対象者 3,596 回答者 2,946 回答率 81.9%

【設問・選択肢】

【平均値】

Q1 あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標をどのくらい達成できましたか 【達成できた 4点・まあまあ達成できた 3点・あまり達成できなかった 2点・全く達成できなかった 1点】	全体	3.51
	講義	3.51
	演習	3.50
Q2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか 【意欲的に取り組めた 4点・まあまあ取り組めた 3点・あまり取り組めなかった 2点・全く取り組めなかった 1点】	全体	3.62
	講義	3.61
	演習	3.63
Q3 学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか 【とても感じた 4点・まあまあ感じた 3点・あまり感じなかった 2点・全く感じなかった 1点】	全体	3.75
	講義	3.75
	演習	3.75
Q4 この授業の内容や方法で特に良かった点、この授業を受けて有益であった点があれば記入してください 【自由記述】		-
Q5 この授業をよりよくするための提案があれば記入してください 【自由記述】		-

※算術平均にて集計

【集計グラフ】※箱ひげ図は授業ごとの平均値で集計

